



たんぽぽ

～瞳キラキラ 笑顔きらきら 喜び沢山
戸田市立喜沢小学校

【学校教育目標】

夢と希望をもち

未来社会を心豊かにたくましく生きる

喜沢っ子の育成

喜沢小～

令和5年6月30日(金)

個別最適な学びの場で進める個別最適な学び

児童支援プロジェクトリーダー 岡田悦子・中村和絵

梅雨明けの待たれる今日この頃、学校では水泳学習も始まり、プールからは子供達の元気な声が聞こえてきています。

さて、本校では、Well-being『すべての児童が学校生活が楽しい、学びが楽しいと言える学校』を目指して、スクールワイドPBSや個別最適な学びを進めています。スクールワイドPBSとは、学校生活全体で児童の望ましい行動の前後にアプローチし、褒めたり認めたりすることで、望ましい行動を増やす工夫のことです。具体的には、毎月望ましい行動を増やすキャンペーンを行い、児童が自分ごととして活動に取り組んでいます。4、5月は、『目を見てあいさつをしよう』のキャンペーンに取り組み、あいさつ運動やポスターを掲示するなど、それぞれの児童の創意工夫を凝らした活動が見られました。その結果、「あいさつがふえた」「意識してあいさつすることで、友達関係がよくなった」などの感想が聞かれ、学校全体でキャンペーンの効果が表れました。

ところで、喜沢小学校には、以下のような学びの場があることはご存知ですか。

保健室、ぱれっとルーム、お話ルーム、フレンドリールーム、日本語教室などです。これらの部屋はどのような児童のためにあるのでしょうか。体調不良やけがをした児童のための保健室、悩みごとの相談をするためのお話ルーム、確かに、そのような使い方が多いかもしれませんが、それだけではないのです。これらの部屋は、喜沢小の児童全員のためにある部屋なのです。『一人一人の児童が、その子らしく学び、自分を高めていく場所』であり、『すべての児童にとって安心・安全と感じられる居場所』なのです。タブレット学習が得意な子がいれば、文字を書くことで学習が進む子もいます。友達と一緒に学ぶことで、学びが深まる子もいれば、静かな環境で学びを進めることで、力をつける子もいます。

個別最適な学びでは、教科や単元、それぞれの児童の進度や思いによってこれらの部屋も活用します。具体的な活用例としては、ぱれっとルームの静かな環境で学ぶ、苦手な部分をフレンドリールームで学ぶ、お話ルームで心配事を聞いてもらって気持ちを切り替えて学習を始めるなど、それぞれの児童に合った環境が、それぞれの成長につながります。

喜沢小学校では、個別最適な学びを個別最適な場所で進めていき、児童一人一人のWell-beingを高めていきます。